

## 子どもの安全

4月には、新1年生が入学します。小学校には安全面に配慮した通学路が定められています。必ずしも万全ではありません。また、入学後はそれまでより生活範囲も広がります。

保護者の皆さんは子どもが安全に過ごせるように、子どもと一緒に通学路や生活範囲の危険箇所を確認し、子どもが事件や事故に巻き込まれないようにしましょう。

### 危険箇所を確認する

確認するときのポイントは不審者が「潜みやすく、犯行が見えにくい」ところです。

- 高い塀が続くところ
- 通りからの見通しが悪く、人の目が届かないところ

- 子どもが1人になるところ
- 下校中、家に近づくにつれて友達と別れ1人になってしまうところ
- トンネルやガード下
- 昼間でも薄暗く、落書きが放置されているところ
- 神社、公園

高台にあったり、樹木が生い茂ったりしてまわりから見えづらい神社や公園

- マンションの駐車場
- 不特定多数の人が出入りでき、車の陰で死角ができる駐車場

このような人目の届きにくい場所で被害が発生していません。このような場所には、近づかせないか素早く通り抜けるように教えましょう。

### 避難場所を教える

いざという時に逃げ込める場所も探しておきましょう。

- 子ども110番の家
- 管理人のいる公民館や公共施設
- コンビニエンスストア

市内でも子どもが駆け込ん

で助けられたという事例があります。

### 自分自身で身を守る

不審者に対しては、「いかのおすし」で身を守りましょう。

「いか」：知らない人について

「いか」ない

「の」：知らない人の車には

「の」らない

「お」：連れていかれそうなときは、「お」おきな

声を出す

「す」：危ないときには、「す」

ぐ逃げる

「し」：何かあったら、すぐ

「し」らせる

### 身につけておきたいこと

● 出かけるときは、行き先と帰る時間を告げさせること

● 横断歩道を渡るときは、確実に止まって左右の確認をすること

● 路上で急な飛び出しはしないこと

子どもには、繰り返し伝えて、確実に身につけておきましょう。

## 筑紫野警察署からのお知らせ 二セ電話詐欺被害防止機器を導入して、 安心な暮らしを

二セ電話の多くは自宅の固定電話にかかってきます。自動録音機能などがある「二セ電話詐欺被害防止機器」を設置することで撃退することができます。

### 二セ電話詐欺被害防止機器とは？

以下のような機能を使って、二セ電話の撃退を行う機器です。ご家庭の固定電話に取り付けるだけで使用できます。

着信拒否

事前通告

自動録音

注意喚起



迷惑電話番号リストの電話番号を自動で着信拒否



通話相手に会話の内容を録音することを事前通告



いざという時のために通話を開始すると自動録音



電話に出る前にアナウンスで迷惑電話の注意喚起

## コミュニティ無線をとおしての Jアラート試験放送を実施します

問い合わせ 防災安全課 (☎内線519・549)

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても下記の日時に実施します。皆様のご理解とご協力をお願いします。



放送日時

2月20日(水) 午前11時

### 放送内容

「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。

※一斉訓練の状況に応じて、中止または延期される場合があります。